

令和4年度 豊郷南小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

豊かな心と健やかな体を持ち、主体的・創造的に考え、たくましく生きる児童を育成する。

- | | | |
|--------------|-------------|-----|
| ・ 仲よく助け合う子 | ・ ・ ・ やさしく | <徳> |
| ・ よく考え進んで学ぶ子 | ・ ・ ・ かしこく | <知> |
| ・ 元気でやりぬく子 | ・ ・ ・ たくましく | <体> |

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

(1) 明るく活力のある学校

明るい挨拶が交わされ、児童主体の楽しい教育活動が展開され、一人一人が夢や目標の実現に向けて努力しようとする意欲にあふれる学校を目指す。

(2) 学びのある学校

教師と児童が学習活動のねらいを共有し、授業の中で、「分かった」「できた」と達成感や成就感を味わうとともに、「もっと学びたい」と感じられる、学びのある学校を目指す。

(3) 子どもたちを学ばせてよかったと思える学校

信頼できる友達と、教育的愛情にあふれる教員がいる学校、保護者の思いや願い、地域の期待を受け止め、子どもたちの成長の姿が実感できる学校を目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

(1) 学力調査の活用や学習習慣の確立、分かる授業の実現により「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性」の育成を目指す。

(2) 「主体的・対話的で深い学び」の実現やGIGAスクール構想の推進を通して、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に努める。

(3) 地域の教育資源の有効活用や教科等横断的な学習の積極的な実施など、カリキュラム・マネジメントの充実に努める。

(4) 児童の人権を尊重し、一人一人のよさや成長を認め励ます教育を推進することで、自己肯定感や思いやりの心の育成を目指す。

(5) 児童理解を心掛け、いじめや不登校を生まない学級経営に努める。いじめや不登校が発生した場合には組織的な対応を行い、早期解決につなげるよう努力する。

(6) 健康で安全な生活が送れるよう健康教育と安全教育の充実に図り、健康でたくましい体を育む教育を推進する。

○(7) 地域学校園小中一貫教育の推進と地域協議会等地域諸団体との連携・協力により、「地域とともにある学校」の実現を目指す。

(8) 学校における働き方改革を推進するとともに、教育公務員としての使命と職責を自覚し、相互に学び合い高め合える同僚性の構築と、教職員の指導力の向上を目指す。

【陽北地域学校園教育ビジョン】

「学びあい 認めあい 高めあう 陽北地域学校園」

4 教育課程編成の方針

(1) 教育関係法規や新学習指導要領及び県・市の教育行政の方針等を踏まえる。

(2) 家庭や地域との連携・協力や教科等横断的な視点を取り入れた「社会に開かれた教育課程」の編成とカリキュラム・マネジメントの充実に努める。

(3) 持続可能な社会の創り手となるよう、児童が自分のよさや可能性に気づき自己肯定感を育むことができるよう工夫する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

学校教育目標が目指す「知・徳・体」のバランスのとれた力の育成 → 合言葉「やさしく・かしこく・たくましく」

「伸びる豊南小の子」を育む「地域とともにある学校」づくりに関する取組

- ・PTA、魅力ある学校づくり地域協議会との連携 ・地域の教育資源を生かした学習活動の充実
- ・いじめ対策の公表等の積極的な情報発信 ・教育課程実践の成果並びに課題の検証とカリキュラムの見直し
- ・教職員の同僚性の構築

【学習指導】

確かな学力を育む学習指導の充実 合言葉「かしこく」（よく考え進んで学ぶ子）を育む取組

- ・学業指導の充実（学習態度や学習技能の習得）
- ・「主体的・対話的な学習」を実践するための読解力・表現力の育成
- ・キャリア教育の充実（「プロに学ぶキャリア教育」の実施、キャリア・パスポートを用いた指導の工夫）
- ・授業の工夫（めあて、振り返り、板書） ・各種学力調査等の結果分析を踏まえた指導・工夫の改善の公表
- ・教員の指導力の向上（国語科の指導を中心とした授業研究）
- ・ICT活用能力の育成 ・読書の充実

【児童生徒指導】

○自己肯定感を高める指導の充実 合言葉「やさしく」（仲よく助け合う子）を育む取組

- ・縦割り班活動の推進 ・いじめゼロ週間の実施 ・定期教育相談の実施 ・心に響く道徳授業の実践
- ・居がいのある学校づくりの推進 ・チャレンジ学級との交流 ・インクルーシブ教育の推進
- ・学校園あいさつ運動、児童会による朝のあいさつ運動の継続 ・学びに向かう集団作り（学習習慣の確立）
- ・宮っ子心の教育表彰等の機会を利用した善行の奨励

【健康（体力・保健・食・安全）】

心身ともに健康で安全な生活を送るための健康教育の充実 合言葉「たくましく」（元気でやりぬく子）を育む取組

- ・健康教育と安全教育の充実 ・体力の実態に応じた補強運動を実施し体力の向上を図る ・器械運動強化旬間の実施
- ・新体力テストを児童が活用し主体的に取り組む態度の育成 ・交通ルールや災害、不審者への対応の学習
- ・学校栄養職員、養護教諭と担任との連携 ・危機を予測し命を守る行動力の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
	A1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児童 90%以上 ⇒教職員 90%以上	①「学業指導」を充実させる方針の下、学習に関する基本的な行動様式（豊郷南小「授業への取り組み方」）について共通認識をもち、学年の発達の段階や実態に応じた指導を行うとともに、授業において児童が積極的に発言し、一人一人の意見を大切にし合える雰囲気づくりに努める。 ②「主体的・対話的な学習」を実践するため読解力・表現力の育成に向け、「学習課題と見通しの理解」、「課題解決」、「学習課題に沿ったまとめ・振り返り」、「A1ドリルの積極的な活用」を意識した授業を行う。 ③各家庭における学習習慣が定着するよう、懇談会の場を用いたり学年だよりを通してたりして保護者と連携・協力する。	B	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 92.3%（96.0%） 教職員 100.0%（93.9%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 今年度、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、校内研究会等を通して指導力の向上に努めた。また、A1ドリルの積極的な活用を図った。本年度の蓄積を生かし、次年度も引き続き、学業指導に取り組む。

目 指 す 児 童 の 姿	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、誰に対しても思いやりの心をもって優しく接している。」における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	①心に響く道徳教育の実践として、体験活動と関連を図った道徳科の授業等を実施し、生命や人権を尊重する心、人を思いやる心などを涵養する。 ②感染症の影響を考え、活動内容を厳選しながら、児童会活動や清掃における縦割り班活動を通して、相手の立場を考えて思いやる心を育む。 ③引き続き「宮っ子心の教育表彰」を活用し、児童のよさや努力等を積極的に認め励ます教育に努める。	B 【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 91.8%（93.0%） 教職員 91.7%（100.0%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①③について 継続して実施する。 ①については、保護者に授業を公開し、家庭との連携を図りながら効果を高めていく。
	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 85%以上	①引き続き「豊南小での生活」に基づく全校共通理解の下、発達の段階に応じて指導にあたり、基本的生活習慣の定着を図る。 ○②きまりやマナーを守って行動していることを児童が認め合う場や教職員が称賛する機会を数多く設け、児童に意識付けしながら実践意欲を高める。	B 【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 89.8%（88.0%） 教職員 91.7%（93.9%） 保護者 90.4%（94.6%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①②を継続して実施していく。 ①の「豊南小での生活」について、児童が自身の生活を振り返られるように指導の工夫を行う。
	A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」における肯定的回答 ⇒児 童 80%以上 ⇒教職員 80%以上 ⇒保護者 80%以上	○①児童会を中心としたあいさつ運動を定期的実践するとともに、児童会と陽北中学校生徒会による「あいさつ運動」を今年度も実施する。また、あいさつ運動を校外（地域の方）にも向け、児童主体の活動を推進する。 ②心のこもったあいさつや、その場にふさわしい言葉遣いができるよう、学年の発達の段階に応じて指導を行うとともに、家庭での指導を保護者に働きかける。 ○③あいさつ運動の様子を学校だよりや本校ホームページ、学年だより、懇談会等で発信し、保護者をはじめとする地域の方々に伝える。	B 【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 91.1%（92.7%） 教職員 87.5%（84.8%） 保護者 89.2%（82.2%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①②③を継続して実施する。 特に②は児童主体で実践的な取組が実施できるようにしていく。
	A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上	①体育科をはじめとする授業の各種検定等において、児童が目標をもって取り組む機会を設けるとともに、目標の達成に向けて努力している児童を称賛する。 ②引き続き、道徳科の授業やキャリア教育と関連付け、目標をもって粘り強く取り組むことの大切さに気付かせ、実践意欲を高める。 ③児童が認め合う場を数多く設けるとともに、教職員が認め励ます指導に努める。	B 【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 90.1%（89.2%） 数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 本校児童には、粘り強く取り組む傾向が見られるので、引き続き体育の検定や道徳で学んだことを生かし、継続して教職員が認め、励ます指導をしていく。

A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 85%以上	①健康に気を付けて自ら健康管理できるよう、学級活動、体育、学校行事と関連を図った保健指導や日常生活指導を行うとともに、養護教諭と担任による体育（保健）の授業や保健だより・食育だよりによる健康についての啓発活動とすこやか教室・肥満予防指導を継続して行う。 ②学校栄養職員と担任が連携し、学校給食と各教科や特別活動の関連を図った、栄養バランスのとれた食事や望ましい食習慣に関する指導を継続して行う。 ③危機を予測し命を守る行動力を育成するため、日常指導における安全教育を充実させるとともに、学校行事として交通安全教室、避難訓練等を計画的に実施する。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 教職員 91.7%（97.0%） 保護者 91.1%（92.5%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 今年度の取組を継続していく。特に廊下の歩行や室内での落ち着いた生活態度の定着に力を入れる。
A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒保護者 85%以上	①宮・未来キャリア教育年間指導計画に基づく様々な教育活動を通して、自らのよさを自覚して夢や目標の実現に向けて取り組もうとする意欲や、望ましい勤労観・職業観を育む。（キャリアパスポート活用） ②家庭や地域社会との連携による体験的活動「なかよし交流活動」や「プロに学ぶ仕事教室」などを実施し、児童が将来の夢や希望を描いたり、実現に向けて努力したりする態度を育成するとともに、学校だよりやホームページ等を通して情報発信する。活動に制限がかかる場合は、オンラインによる交流体験を実施する。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 90.1%（89.2%） 保護者 79.5%（81.4%） 保護者回答率が数値指標を下回っている。 【次年度の方針】 児童が夢や目標に向かって頑張っている様子が保護者に伝わるよう、学校だより、ホームページや学年だより「ハートフル豊南」欄を通して情報を発信する。引き続き、キャリアパスポートを用いて児童の意識を高める。またPTA、地域社会との連携による体験活動を増やしていく。
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	①ALTとの日常的な交流を通じて、言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ②ALTと連携し、外国語科・外国語活動において英語のやりとりを中心とする授業を行うとともに、校内研修を充実させ、指導力の向上を図る。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 86.7%（92.9%） 教職員 100.0%（93.9%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ALTと連携した授業を通し、英語への関心を高めるなど、本年度の成果を生かし、次年度も引き続き取り組んでいく。
A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、住んでいるところや宇都宮の良さを知っている。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上	①生活科、社会科、総合的な学習の時間等と関連させながら調べ学習（校外学習）を実施し、豊郷地域や宇都宮市のよさに気付く指導に努める。 ②「宇都宮学」ではタブレットを用いた調べ学習やレポート作りなどをより充実させる。1、2年生の、地域への関心を高めるために、図書室に備えてある市に関する図書コーナーを、低学年を意識した掲示物に変更し、さらに積極的に活用する。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 84.1%（84.3%） 数値指標を下回っている。 【次年度の方針】 宇都宮学及び家庭での学習を通して、市の地理や歴史、文化、産業等について理解を深める。また図書室に備えてある市に関する図書コーナーを積極的に活用したり、給食時に地域の食材を放送で紹介したりするなどして、興味関心を高めていく。

A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	①プログラミング教育・GIGAスクール構想と関連付け、教員が授業等で積極的にICT機器を活用するとともに、一人一台端末を用いた、調べ学習や繰り返しドリルに取り組みさせる。また、児童の発達の段階に合わせて情報モラルに関する授業、ICT操作スキルを育成する授業を行い、児童のICT機器活用能力を高める。 ○②各学年の授業内容に関連した図書を充実させ、地域学校園内の各校、市立図書館とも連携しながら学校図書館の環境整備に努める。 ③朝の読書タイムや読み聞かせ、図書だよりの発行などを通して児童の読書意欲を喚起する。また、学校図書館を用いた「調べ授業」を取り入れ、情報活用能力の育成を図る。さらに、「家読」の取組について実践例を保護者に紹介するなどし、児童が読書に親しみ活用できる姿勢を育てる。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 88.1%（92.7%） 教職員 100.0%（100.0%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 今年度は、GIGAスクール構想の推進に向け、タブレットの利活用を進めた。操作方法や活用方法について指導し、授業や家庭学習で利用したり、臨時休業時のオンライン授業で活用したりした。今後は、一人一台端末を用いた、家庭学習につながる宿題等を充実させられるよう研究していく。また、学校図書館の利用も推進し、調べ学習等を通じた情報活用能力の育成を図る。
A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】【A2再掲】 全体アンケート「児童は、誰に対しても思いやりの心をもっている。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	①心に響く道徳教育の実践として、体験活動と関連を図った道徳科の授業等を実施し、生命や人権を尊重する心、人を思いやる心などを涵養する。【A2①再掲】 ②総合的な学習の時間や委員会活動等において、児童が地域の方や高齢者と交流する活動を実施し、感謝や相手を思いやる心、人と関わろうとする心等を育む。感染症の状況に応じて可能な活動を厳選し実施する。	肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 91.8%（93.0%） 教職員 91.7%（100.0%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 今年度は実施できない取組が多かった。実施に向け検討し準備を進めていく。
A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている。」における肯定的回答 ⇒児童 80%以上	①総合的な学習の時間や理科、社会科等における環境やエネルギー、防災等に関する学習を通して、教科等横断的な視点で環境問題や防災への関心を高める。 ②各学級を中心に、児童が日常生活で行っているごみの分別や節電、節水が「SDGs」や「持続可能な社会」に関係していることを場に応じ繰り返し伝えていく。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 85.2%（89.6%） 数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 児童が日常生活で行っているごみの分別や節電、節水が「SDGs」や「持続可能な社会」に関係していることを、場に応じ繰り返し継続して伝えていく。
B1 児童は、進んで運動している。 【数値指標】 学校独自アンケート「児童は、体育の授業や休み時間に進んで運動している。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒保護者 85%以上	①学習カードの工夫やスモールステップでの目標設定などを工夫し、教科体育の充実を図る。また、楽しさと運動量のある体育の授業実践に努める。 ②感染症の状況を踏まえ、ドッジボール大会や長縄集会等を行い、楽しく体力向上への意欲や技能を高める。 ③雨天時以外では、外遊びを奨励するとともに、縄跳びの練習台など設置し、児童が運動に親しめる環境を整えていく。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 89.8%（93.0%） 保護者 88.3%（88.7%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 今年度の取組を継続し、児童が運動に親しめる活動を企画したり場を設定したりするなどして環境を整えていく。

目 指 す 学 校 の 姿	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	①特別な支援を必要とする児童について共通理解を図り、一人一人のニーズを踏まえた支援を組織的に行う。 ②校内支援委員会やケース会議等で具体的な指導目標や指導の手立てを設定し、かがやきルームや特別支援学級における支援・指導の充実を図る。 ③必要に応じて外部機関との連携を深め、個々の実態に応じた支援の充実に努める。	B	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 教職員 95.8%（100.0%） 数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 個別の教育支援計画を基に、各学級がかがやきルーム等と連携を強め、指導の充実を図った。達成状況の結果より、今年度同様に引き続き実施する。
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒保護者 85%以上	①学級活動や道徳科の授業等を通して、人を思いやることや人権を尊重することの大切さを指導するとともに、いじめが許されない行為であることを繰り返し指導する。 ②児童会が主体となり、「人権標語コンクール」や「いじめゼロ運動」等に児童主体取り組めるよう支援し、望ましい児童集団の育成に努める。 ③いじめの早期発見や早期解消においては、教職員全員が、学校全体で取り組むという認識の下、定期的にアンケートや教育相談等による情報収集を行うとともに、「豊南小いじめ防止基本方針」に基づく組織的な対応により、保護者の理解協力も得ながらいじめの早期発見、早期解消を図る。さらに、このような学校の取組を積極的に情報発信する。	B	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 97.6%（98.1%） 保護者 82.3%（80.5%） 保護者回答率が数値指標を下回っている。 【次年度の方針】 いじめの早期発見、未然防止について、学校での取組を文書等で発信し、周知を図る。
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合う場をつくってくれている。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	①授業や朝の会・帰りの会等の様々な活動を通して、教職員が児童のよさや努力を認め励ます指導を行うとともに、児童同士が認め合う学級経営に努める。 ②教育相談、アンケート、Q-U調査等を活用し不登校傾向や不登校傾向の児童の早期発見と不登校傾向の児童に係る情報共有を図り、組織的に対応する。 ③教育相談やアンケート等の時期を調整し、児童の心のケアを行えるように努める。	B	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 97.1%（98.4%） 教職員 100.0%（100.0%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 職員会議や打ち合わせ等の児童の情報共有の場を有効活用する。 今年度2年生サポートにより、教職員全体で児童指導を行う体制ができたため、今後問題行動や不登校対策には組織的に対応していきたい。
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】【A13再掲】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	①外国人児童について全校で共通理解を図り、必要な社会的な支援やニーズも踏まえ、外部機関と連携するなど幅広い視野から柔軟に対応できるようにする。 ②児童が、互いの国籍や文化の違い等を認め合い尊重しながら生活できるよう、日常的な指導に努める。また、道徳科や外国語活動、外国語科等を主とし、あらゆる教育活動を通して外国の文化の尊重や多様性を大切にする心情を育てる。 ③外国人児童の実態や家庭環境に応じた日本語指導教師の活用を行う。	B	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 教職員 95.8%（100.0%） 数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①②市日本語指導講師等と連携・協力を深める時間の確保に努める。児童本人や保護者のニーズを考慮し、必要な支援を行う。 ③外国語活動や外国語の授業以外でも、教科横断的に、外国の文化を尊重する心情を育てるような指導を行う。

A 17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート「私は今の学校が好きです」「学校は、活があり、明るく生き生きとした雰囲気である。」における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒保護者 85%以上	①「分かる授業、楽しい学校行事、良好な人間関係醸成」の実施に努める。 ②児童会活動において、児童の主體的な活動を重視するとともに、「きずなスマイル活動」等の縦割り班活動を実施し交流を深める。 ③児童が自己肯定感を高められるよう、授業の中で発表したり係活動等を通して誰かに貢献したりする場面を設定し、小さな努力の積み重ねや活躍の状況等を、積極的に認め励ます指導を継続する。また、児童が互いのよさを認め合う場面を設定し、一人一人に達成感を感じさせるとともに、活動への意欲と自信を育てる。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 89.8%（91.7%） 保護者 91.2%（92.9%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①②③を継続して実施する。 特に②の様々な児童会活動の中で、児童の自己有用感を高めたり、学校、学級への帰属意識を高めたりできるように努める。
A 18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上	①引き続き、豊郷南小学校「教え方のポイント」を踏まえた分かる授業の展開や、児童の思考の流れに沿った構造的な板書を行うとともに、児童の状況を踏まえ、よさを積極的に見付け褒める指導に努める。 ②児童の状況に配慮した習熟度別学習やT・Tなどを計画的に取り入れ、指導を行う。 ③「主体的・対話的な学習を通して、読解力・表現力を高める国語科指導」に向け、授業研究会等の校内研修を通して教員の指導力向上を図る。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 96.9%（99.1%） 数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 今年度は、学校研究課題を「主体的・対話的な学習を通して、読解力・表現力を高める国語科指導」として、「深い学び」の実現に向けて校内研究授業等を実施し、指導法の研究を行った。本年度の成果を生かし次年度も引き続き取り組んでいく。
A 19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校に関わる教職員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	①引き続き、学校の諸課題への対応や学校行事の準備・運営等に、教職員が協力して取り組むよう努める。 ②教職員の得意分野や持ち味が生きる組織運営に努めるとともに、困難を感じる業務について気軽に相談したり、助け合ったりする雰囲気を大切に、校務分掌や出授業の中で互いの得意分野を生かし、学年会等で情報交換を行い、「風通しのよい・働き甲斐のある職場」づくりに努める。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 教職員 100.0%（100.0%） 数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①引き続き、学校の諸課題への対応や学校行事の準備・運営等に、教職員が協力して取り組むよう努める。 ②今後も、教職員の得意分野や持ち味が生きる組織運営に努めるとともに、ベテラン・若手双方の意見を反映できる「風通しのよい・働き甲斐のある職場」づくりに努める。

A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	①教職員一人一人が、勤務時間を意識し、業務の効率的な実施や計画的な処理に努める。 ②業務を精選し、行事の内容や実施方法等の改善を行う。特に負担の大きい行事については、校務分掌の複数の担当者が行事ごとに分担し合うなどの工夫をする。 ③校務支援システムやミライム等を効果的に活用し、打合せ時間を短縮するなど業務の効率化を図る。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 教職員 70.8%（78.8%） 数値指標を下回っている。 【次年度の方針】 ①日課を工夫することで、教職員の放課後の時間を確保し、教職員一人一人が、勤務時間を意識し、業務の効率的な実施や計画的な処理に努める。 ②行事内容の実施方法の改善・工夫・縮小を検討し、特に負担の大きい行事については、校務分掌の複数の担当者が分担し合うなどの工夫をする。 ③会議や打ち合わせ（学年会を含む）の終了時刻や会議内容の精選、ペーパーレス化をさらに推進するなど、業務の効率化を図る。
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 85%以上	①中学校と連携して、あいさつ運動や進学先中学校訪問を実施するとともに、地域学校園の教科・専門部会の目的を明確にして効果的に実施する。 ②学校HP・学校だよりや学年だより等で小中一貫教育・地域学校園の活動について情報を発信する。 ③中学校からの乗り入れ授業（6年生）について、学校園内で検討し充実させる。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 教職員 87.5%（97.0%） 保護者 80.8%（71.7%） 保護者回答率が数値指標を下回っている。 【次年度の方針】 ○①中学校と連携して、あいさつ運動等計画的に実施するとともに、地域学校園の教科・専門部会の目的・内容を明確にして全職員共通理解のもと実施する。 ②引き続き、学校HP・学校だよりや学年だより等で情報を発信する。 ③中学校からの乗り入れ授業については、充実した取組となるよう、引き続き学校園内で検討する。
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」における肯定的回答 ⇒保護者 85%以上 ⇒地域住民 85%以上	①感染症対策をしながら、できることを工夫して行う。 ②豊郷南小学校地域協議会を開催し、学校と家庭・地域が連携協力して行う取組や学校の教育活動への支援・協力について協議する。 ③「町探検」「のざわ特別支援学校とのなかよし交流」「プロに学ぶ仕事教室」など、家庭や地域との連携による体験的活動の計画的な実施を通して、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開するとともに、活動の状況を学校だよりやホームページ等で紹介する。 ④「豊南小盆踊り」「みなみん祭り」などPTAや地域と連携した特色ある活動を実施し、PTA広報紙等で積極的に発信していく。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 保護者 89.7%（84.5%） 地域住民100.0%（93.8%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①③次年度以降も地域の物的・人的資源を生かしながら、教育活動を行っていく。 ②活動の状況をHP、学校・学年だより、PTA広報紙等で積極的に発信していく。 ④PTAや地域と連携した特色ある活動を実施する。

A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】【A22 再掲】全体アンケート「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」における肯定的回答 ⇒保護者 85%以上 ⇒地域住民 85%以上	①豊郷南小学校地域協議会を開催し、学校と家庭・地域が連携協力して行う取組や学校の教育活動への支援・協力について協議する。【A22 再掲】 ②「見守り隊」や学校支援ボランティアを有効に活用し、登下校や校外学習時の安全確保、読み聞かせや授業への支援などへの協力を得る。 ③引き続き、学校だよりや学年だより、学校HP等で、家庭・地域等と連携・協力した取組について積極的に情報を発信する。	B	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 保護者 89.7%（84.5%） 地域住民 100.0%（93.8%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①から③の内容を引き続き取り組んでいく。
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 80%以上	①教室、特別教室、廊下、体育館、校庭など、教職員全員による安全点検を毎月1回実施するほか、学校行事の前後や災害時など臨時的な安全点検を行い、危険箇所について迅速な改善・修繕に努める。 ②危機管理マニュアルを整備するとともに、令和3年度の内容見直しを踏まえた避難訓練や引き渡し訓練等を通して、火事、地震、竜巻、不審者侵入等の事態に対応できるように指導を継続する。 ③熱中症予防のため、運動会の練習や体育の授業において、引き続き、こまめな水分補給や日陰での休憩を行う。また、身体安全に向けた日常の健康管理や把握を行う。更に、感染症等の予防のために手洗い・うがい、手指の消毒、マスクの着用、換気を継続指導する。	B	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 教職員 100.0%（97.0%） 保護者 90.2%（90.8%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 校舎や机・椅子など、老朽化が進んでいるものもあるが、改善・修繕し、できる限り安全に過ごせるように努力してきた。今年度の取組を継続していく。
A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。 【数値指標】全体アンケート「児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	①児童がタブレットや情報通信ネットワークなどの情報手段に親しみ、適切に活用する力を育成できるよう、積極的にICT機器を活用する。 ②引き続き、各学年の学習内容に関連した図書を充実させ、地域学校園内の各校や市立図書館とも連携しながら学校図書館の環境整備に努める。 ③一人一台端末の効果的な活用法について教職員が校内研修で検討し、より良い指導法について共有する。	B	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 88.1%（92.7%） 教職員 100.0%（100.0%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 Chromebookの効果的な活用法について校内研修や学年会で検討し、より良い指導法について共有する。
B2 学校は、学習にふさわしい環境になっている。 【数値指標】学校独自アンケート「学校は清掃が行き届き、に荷物や備品などが整理整頓され、学習しやすい環境である」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 85%以上	①児童が学習に集中し、常にすがすがしい環境で生活できるよう、校内の整理整頓・環境整備に努めるとともに、児童の環境美化への意識を高め、進んで行動できるよう指導する。雑巾をこまめに交換したり、水道清掃担当の児童は個別の手袋を使用して清掃を行ったりする。また、児童自らが整理整頓や清掃を進んで行えるよう指導を徹底する。 ②自主清掃を推奨し、清潔で学習にふさわしい環境づくりに努める。 ③PTAと協力し、奉仕作業として、夏休み明けに校地の除草作業等を行う。	B	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 92.2%（91.8%） 教職員 100.0%（97.0%） 保護者 89.8%（85.8%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 今年度の取組を継続し、望ましい学習・生活環境の保持に努める。

本校の特色・課題等	B3 児童は、悩みや困ったことなどを相談したり話を聞いてくれたりする相手がいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、教育相談などで自分のことを先生に話している。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 85%以上	①日常的に児童が相談しやすい雰囲気や関係づくりに努めるとともに、担任だけでなく、学校の誰にでも相談できる体制づくりを進める。また、ゆとりをもって相談できる環境づくり（時間の確保）にも努める。 ②引き続き、児童の様子を注意深く観察し職員間で情報を共有するとともに、必要に応じてケース会議を開くなどして組織的に対応できるようにする。 ③普段から保護者と密に連絡を取り、児童のよさや頑張りを伝えたり、児童の願いや保護者の願いなどの理解に努めたりして良好な信頼関係作りに努めるとともに、児童の家庭での様子等の把握に努める。 ④教育相談については、学年だより等にその意義や児童の様子などを載せるなどし、情報を発信していく。	C	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 89.8%（89.4%） 教職員 100.0%（100.0%） 保護者 66.0%（74.1%） 保護者回答率が数値指標を下回っている。 【次年度の方針】 ①②③④を継続して実施する。
------------------	--	--	----------	--

6 〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

・学校評価では、28項目中、23項目で評価指標を達成した。 ・保護者・児童ともに肯定的回答率が90%を超えている項目は次のとおりであり、継続していく。 1 A2「児童は思いやりの心をもっている」 保護者92.4% 児童91.8% 学校では、児童会における縦割り班活動、登校班や清掃時における上級生のサポート、道徳学習を通した思いやる心の育成に取り組んでいる。引き続き実践する。 2 A6「児童は健康や安全に気を付けて生活している」 保護者91.1% 児童90.3% 食育・登下校の安全指導・竜巻の発生や不審者の侵入を想定した避難訓練などに取り組んだ。また、見守り隊の支援による意識の高まりがある。今後も危機を予測する力の向上に取り組む。 3 A15「教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている」 保護者91.2% 児童97.1% 朝の会や帰りの会などで、その日の児童の行いのよさや努力を紹介したり、児童同士でよさを伝え合ったりする活動を行った。また、教職員全体で児童指導を行う体制ができてきているため、今後も継続して取り組む。 ・保護者・児童の肯定的回答率が80%に達しなかったものがある項目は次のとおりである。 1 A5「児童は夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 保護者79.5% 児童90.1% 児童が夢や目標に向かって頑張っている様子が保護者に伝わるよう、学校だよりやホームページ以外にも、学年だより欄を通して情報を発信する。引き続き、キャリアパスポートを用いて児童の意識を高める。 2 A9「児童は宇都宮の良さを知っている」 保護者70.0% 児童84.1% 宇都宮学等では保護者からの聞き取りを通して、市の地理や歴史、文化、産業等について理解を深める。また図書室に備えてある市に関する図書コーナーを積極的に活用したり、給食時に地域の食材を放送で紹介したりするなどして、興味関心を高めていく。 3 B3「児童は教育相談などで自分のことを先生に話している」 保護者66.0% 児童89.8% 児童が相談しやすい雰囲気づくりに向け、普段から保護者と密に連絡を取り、児童のよさや頑張りを伝えたり、児童の願いや保護者の願いなどの聞き取りに努めたりする。担任だけでなく、学校の誰にでも相談できる体制づくりを進める。 ・教職員の肯定的回答率が80%に達しなかったものがある項目は次のとおりである。 1 A20「学校は教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」 教職員70.8% 日課変更することで、教職員の放課後の時間の確保に努める。また、会議や打ち合わせの内容を精選し終了時刻を厳守する。引き続き、行事内容の実施方法の改善・工夫を検討し、特に負担の大きい行事については、校務分掌の複数の担当者が分担し合うなどの工夫をする。

7 学校関係者評価

- ・本年度は、徐々に学校行事の実施が増え、子供たちも楽しい学校生活を送れたようだ。感染症対策を講じた計画等、先生方の尽力に感謝したい。
- ・先生方が熱心にご指導していただき、子供たちは、元気に明るく学校生活を送っているようだ。今後も続けてほしい。
- ・挨拶をしてくれる子供がたくさんいる。廊下の歩行に関しては課題がある。
- ・授業でタブレットを積極的に活用していた。今後、児童の学びの向上につながるよう、よりよい活用を期待する。
- ・A9の「宇都宮の良さを知っている」に関しては、宇都宮を離れたことがある保護者等外部の人材が宇都宮の良さを話す場を作れるとよいのではないだろうか。また、コロナ禍で控えていた町探検や特別支援学校との交流を少しずつ復活できるとよい。
- ・高学年では、様々な職業の方を学校に招き、仕事について話してもらう企画があった。今後も継続してほしい。
- ・見守り隊の方々が、朝早くから子供たちの安全な登校のために尽力していただき、とてもありがたい。
- ・児童の評価より保護者の評価が低いのは、子供と親の会話が少ないことも一因ではないだろうか。
- ・学校と保護者と地域の認識を合わせるための話合いの場をさらに増やしていけるとよい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学校経営】

- ・全体的に児童は落ち着いて学校生活を送っている。学校運営が概ね良好に行われている。
- ・魅力ある学校づくり地域協議会や地域学校園、地域企業等との連携については、引き続き充実させ、学校運営に反映し、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指していきたい。
- ・令和4年度は、徐々に学校行事の実施が増えた。次年度は、体験的活動や地域との交流学習の機会を増やしていきたい。活動の様子が保護者や地域に伝わるよう、今後も各種たよりや学校ホームページによる情報発信を積極的に行っていく。
- ・「教職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」の項目では、肯定的回答率が100%であった。引き続き「風通しのよい・働き甲斐のある職場」づくりに努める。
- ・「教職員の勤務時間を意識して業務の効率化に取り組んでいる」の項目では、肯定的回答の割合が減少した。感染症による急な学級休業や感染症対策やGIGAスクールへの対応等があり、新たな業務が生まれているが、日課を工夫することで、教職員の放課後の時間の確保に努める。また、引き続き、行事内容の実施方法の改善・工夫を検討し、特に負担の大きい行事については、校務分掌の複数の担当者が分担し合うなどの工夫を行い、効率化に取り組んでいく。

【学習指導】

- ・児童の学習に関して、引き続き、「分かる授業づくり」と「家庭学習の方法の指導」を推進する。
- ・各学力調査について教職員全員で結果の分析を行った。そこから抽出された成果と課題を基に次年度の学校課題を設定し指導方法の工夫を行う。特に、「主体的・対話的で深い学び」を育成できるよう授業改善を進め、教員の指導力向上を図る。
- ・家庭学習の時間は、学年による差はあるが、市平均よりやや多い状況と考えられる。今後は家庭学習の方法の指導を推進し、内容の一層の充実を図る。
- ・「宇都宮の良さを知っている」に関しては、図書館での調べ学習や保護者からの聞き取り調査などを通し、市の地理や歴史、文化、産業等について理解を深め、ふるさとに誇りをもてるよう指導していきたい。また、給食時に地域の食材を放送で紹介し、興味関心を高めていく。
- ・「GIGAスクール構想」の実現に向け、学年に応じて操作方法や活用方法について指導し、授業や家庭学習で活用したり、臨時休業時のオンライン授業で利用したりした。また、教職員間において実践例の共有等を通し、活用技能の向上を図った。次年度は、家庭学習につながる宿題等を充実させたい。また、学校図書館の利用も推進し、調べ学習等を通じた情報活用能力の育成を図る。

【児童指導】

- ・思いやる心に関しては、今後も、児童会における縦割り班活動、登校班や清掃時における上級生のサポート、道徳学習を通して育成する。
- ・児童の規範意識に関して、引き続き、家庭や地域の協力を得ながら、セルフコントロールする意識を育てていく。
- ・「学校はいじめ対策に熱心に取り組んでいる」の項目では、保護者の肯定的回答の割合がやや増加した。今後も「いじめゼロ運動」に取り組むとともに、児童会が主体となる活動を実施し、活動の様子を発信するよう努める。
- ・今後も子供たちのよさを認め励ます教育を推進し、児童の自己肯定感を高められるよう支援する。児童が相談しやすい雰囲気づくりに努めたり、保護者と密に連絡を取り合ったりすることで、児童の思いや保護者の願いなどを聞き取り、学校の誰にでも相談できる体制づくりに取り組む。

【健康（保健・安全・食育）・体力】

- ・児童の健康や安全への意識向上に向けて、特に交通安全について、通行量の多い道、狭い道のある学区であることを踏まえ、今後も重点的に指導する。
- ・教科体育では、学習カードの工夫やスモールステップでの目標設定などを工夫し、楽しさと運動量のある体育の授業実践に努める。
- ・健康指導・食育の指導については養護教諭・学校栄養職員と連携し、ＴＴとしての授業参加やすこやか教室の実施等を通して、児童の健康面を支援する。